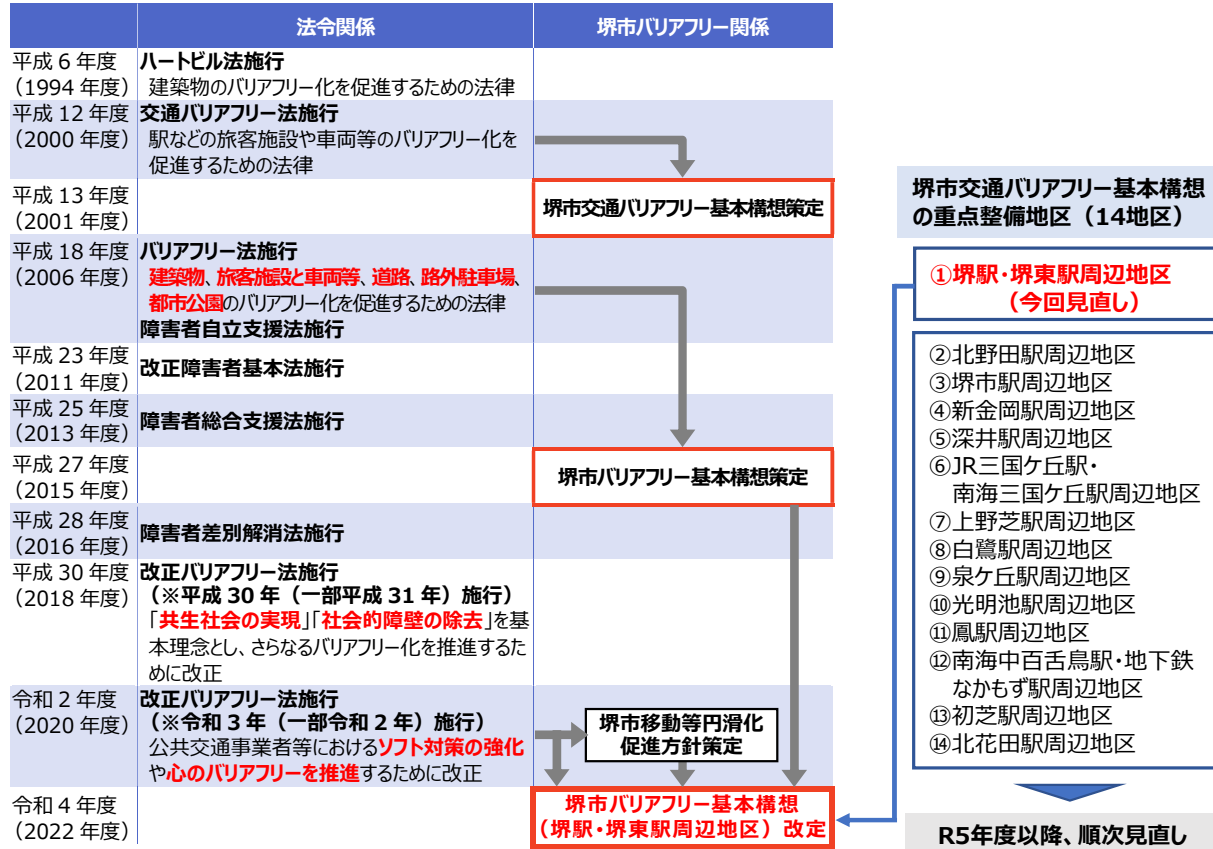


改定の背景

「堺市交通バリアフリー基本構想」と「堺市バリアフリー基本構想」との統合

・堺市には、現在「堺市交通バリアフリー基本構想」と「堺市バリアフリー基本構想」の2つの構想が存在している

⇒「堺市バリアフリー基本構想」全体の見直しに加え、「堺市交通バリアフリー基本構想」における重点整備地区の評価・見直しを行うことで、**順次「堺市バリアフリー基本構想」への一本化を図っていく（今年度は「堺駅・堺東駅周辺地区」の見直しを実施）**



バリアフリー関連の法改正

- ・平成13年度の「堺市交通バリアフリー基本構想」策定以降、バリアフリーに関連する様々な法改正が実施
- ・令和3年4月の改正では、「心のバリアフリー化」などのソフト対策を強化するため、公共交通事業者等に対する基準適合の義務化や、市町村による「心のバリアフリー」の推進などが明確化

国におけるガイドライン・目標等の見直し

- ・「交通バリアフリー基準」及び「公共交通機関の移動等円滑化整備ガイドライン（旅客施設編・車両等編）」等の改正、バリアフリー法に基づく基本方針における次期目標の公表

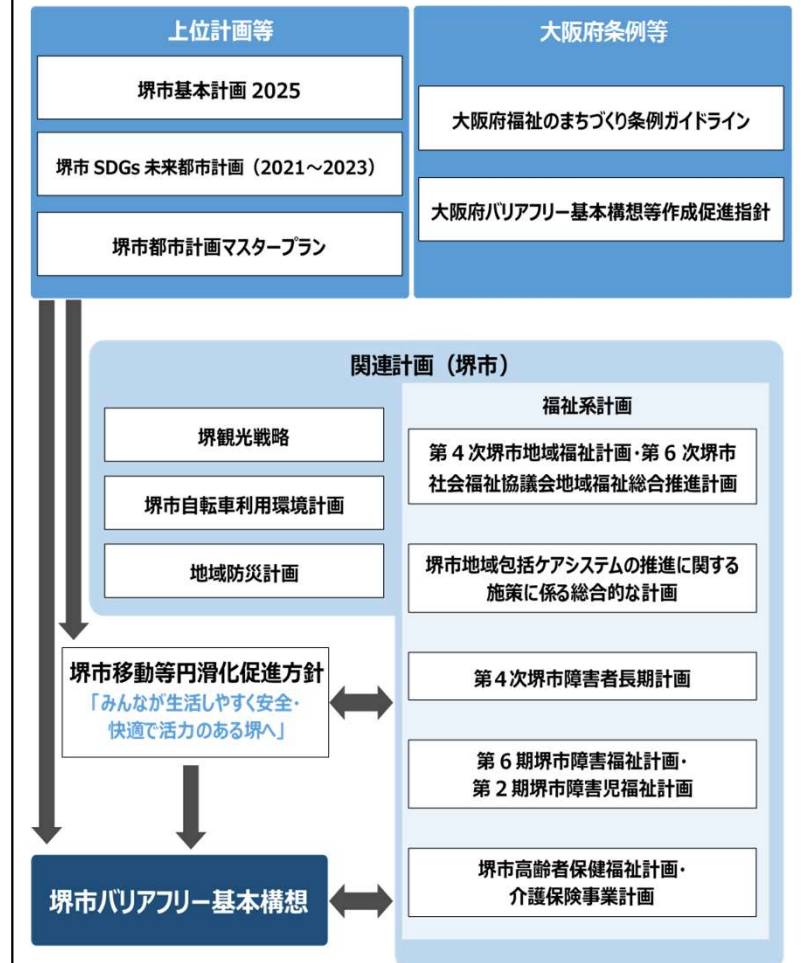
改定後の計画期間

- ・令和5年4月1日から令和10年3月31日の5年間

改定の背景

堺市バリアフリー基本構想と上位・関連計画との位置付け

- ・今回の改定に伴い、「堺市基本計画2025」等の上位計画や関連計画との整合を図る
- ・バリアフリー基本構想はバリアフリー法第25条に基づくもの（法定）
- ・バリアフリー法において、「移動等円滑化促進方針」（法第24条の2）が**基本構想（法第25条）の上位方針と位置付けられている**
「堺市移動等円滑化促進方針」 > 「堺市バリアフリー基本構想」
- ・基本構想の改定に向け、移動等円滑化のために実施する事業を検討する上で関連する計画は下記のとおり



堺市バリアフリー基本構想の改定に係る骨子案

「堺市バリアフリー基本構想」の改定ポイント ・ 「堺市交通バリアフリー基本構想」（堺駅・堺東駅周辺地区）のバリアフリー化の進捗状況

○堺市バリアフリー基本構想の改定ポイント

対象者の拡充	対象施設の拡充	基本構想の 対象エリア等の拡充	ソフト施策の充実	バリアフリー基準 の見直し
身体障害者のみならず、知的・精神、 発達障害、高次脳機能障害など すべての障害者 を対象に ⇒計画に すべての障害者を対象に することを明記	計画における個別施設の位置づけは 旅客施設や道路だけであったが、対 象に 建築物や路外駐車場、都市公 園等 、日常生活で利用する施設を追 加 ⇒生活関連施設として位置づけ	駅舎と生活関連施設とをつなぐ経路 のみならず、 生活関連施設間も生 活関連経路として経路設定可能 に ⇒生活関連施設への位置づけをふ まえ生活関連経路を指定	施策の持続的かつ段階的な発展 (スパイラルアップ) や、 心のバリア フリー の位置付け・より一層の推進 ⇒市内全域の取組として位置づけ	駅等における 乗継ぎルート のバリアフ リー化、 オストメイト用設備 の設置、 利用者の特性に応じた わかりやすい 情報の提供 等 ⇒ 新たな基準をふまえた整備項目 の設定

○「堺市交通バリアフリー基本構想」（堺駅・堺東駅周辺地区）のバリアフリー化の進捗状況

対象施設	達成状況 (令和4年7月時点)	達成状況からみる分析
堺駅・堺東駅	・券売機の車いす対応やIC化への対応、トイレ出入口への触知案内板設置などが実施され、設備については 概ねバリアフリー化が完了	・ソフト事業のほか、誘導案内や情報施設の改良など、今後も継続的な取組が求められる
特定道路 (交差点含む)	・特定道路については、概ね整備が完了しており、未整備箇所は令和5年以降に完了予定 ・主要信号交差点において音響声信号化または改良済 ・不法駐輪や不法駐車、商品・看板等のはみ出しなど障害物等の指導・撤去・規制を継続的に実施中	・特定道路については未整備路線の確実な整備が求められる ・他の交差点においても、継続的な音響声信号化または改良等の検討が求められる ・障害物等の指導・撤去・規制について、今後も継続的な実施が求められる

基本理念

みんなが生活しやすく安全・快適で活力のある堺へ

(目的)

- 高齢者・障害者などの自立と社会参加に向けた都市環境整備の推進
- より質の高い都市基盤の提供

(視点)

○みんなが生活しやすく安全・快適で活力のある都市をめざして、総合的・一体的な都市基盤整備及び心のバリアフリーを推進するために、市域のバリアフリー化を下記の視点に基づき促進します。また、市域のバリアフリー化を進めるために、バリアフリー基本構想を重点整備地区において定め、バリアフリー化を促進します。さらに、それ以外の地区についても順次促進します。

1. みんなが使いやすいユニバーサルデザインの考え方をベースとして、堺市民のみならず来訪者も快適に移動・利用できる空間整備を進めます。
2. 高齢者・障害者などの自立を支援し、活気のある日常・社会生活を過ごせるため多様な移動手段の確保を検討します。(既存の公共交通機関の活用等)
3. 市民、当事者参画によるバリアフリー化の取組を進めます。
4. 市民それぞれがバリアフリー化について理解を深め、気持ちよく過ごせる都市を実現するため心のバリアフリー推進施策を実施します。
5. バリアフリーに関する情報の提供を促進します。

改定後の基本構想の方向性

- 堺市交通バリアフリー基本構想で定めた重点整備地区に加え、新たな重点整備地区について、移動等円滑化基準及び各種ガイドラインへの適合を図るなど地区内のバリアフリー化をめざします。
- 既存施設等においてハード整備によるバリアフリー化が困難な場合は、人的対応や運用面などソフト面による対応によりバリアフリー化をめざします。
- 基本構想を作成して計画が完了するものではなく、PDCAサイクルによる進捗管理など継続的な取組により、持続的なバリアフリー化をめざします。
- 重点整備地区内においては、特定事業等を実施しバリアフリー化を強く進めます。また、重点整備地区外においても都市基盤整備などに合わせたバリアフリー化を進めるなど、広域的なバリアフリー化をめざします。

堺駅・堺東駅周辺地区について

令和 4 年 10 月 18 日時点版

堺市

堺市バリアフリー基本構想（改定版）

【堺駅・堺東駅周辺地区版】

目次

I .整備対象地区の設定	1
1 .バリアフリー新法に基づく基本構想策定地区の設定	1
2 .生活関連施設及び生活関連経路の選定	1
3 .重点整備地区の設定	4
4 .重点整備地区における要件整理	5
II .地区の特性、バリアフリー化の主な課題	6
1 .地区の特性	6
2 .地区の課題	6

I.整備対象地区の設定

1.バリアフリー新法に基づく基本構想策定地区の設定

堺市交通バリアフリー基本構想で定めた重点整備地区について、整備目標時期が到来していることや法改正により整備基準が変化していることなどを踏まえ見直しを行い、バリアフリー新法に基づく重点整備地区として設定を行います。

令和 4 年度の改定では、堺市交通バリアフリー基本構想で定めた重点整備地区（17 駅 14 地区）のうち、本市の中心的な拠点に含まれる「堺駅・堺東駅周辺地区」について、重点整備地区の設定を行います。

2.生活関連施設及び生活関連経路の選定

（１）生活関連施設の選定

「堺駅・堺東駅周辺地区」内やその周辺においては、特定旅客施設であって中心的な生活関連施設となる南海電鉄堺駅、堺東駅のほか、生活関連施設の用途に該当する公共施設や病院、商業施設等が多数所在していますが、なかでも公共性の高い施設、施設規模が概ね 2,000 ㎡以上となる建築物、駐車用の供する部分（駐車マス）の面積が 500 ㎡以上の路外駐車場等を生活関連施設として選定します。

なお、以下の表では、「堺市交通バリアフリー基本構想」の重点整備地区図内に記載のある施設を「継続」、記載のない施設を「新規」施設とし整理しています。

【堺駅・堺東駅周辺地区における生活関連施設】

分 類	施設名	新規/継続区分
官公庁等	堺市役所	継続
	堺市堺区役所	継続
	堺郵便局	継続
	大阪府堺警察署	継続
	堺市消防局 堺消防署	継続
	裁判所（堺簡易裁判所、大阪家庭裁判所 堺支部、大阪地方裁判所 堺支部）	継続
	堺市男女共同参画センター	継続
	堺地方合同庁舎（堺税務署、大阪法務局 堺支局）	継続
	大阪府泉北府税事務所	継続

分類	施設名	新規/継続区分
教育・文化施設	堺市社会福祉協議会（社会福祉法人）堺市総合福祉会館	継続
	フェニーチェ堺（堺市民芸術文化ホール）	新規
	堺市立英彰小学校	継続
	堺市立市小学校	継続
	堺市立少林寺小学校	継続
	堺市立熊野小学校	継続
	堺市立安井小学校	継続
	堺市立榎小学校	継続
	堺市立月州中学校	継続
	堺市立殿馬場中学校（夜間学級含む）	継続
	大阪府立泉陽高等学校	継続
	大阪府立三国丘高等学校	継続
	シマノ自転車博物館	新規
	さかい利晶の杜（千利休茶の湯館、与謝野晶子記念館）	新規
保健・医療・福祉施設	阪堺病院	継続
	清恵会病院	新規
	三国丘病院	継続
商業施設	プラットプラット	継続
	ライフ堺駅前店	新規
	ジョルノ	新規
	高島屋 堺店	継続
	コノミヤ 堺東店	新規
宿泊施設	ホテル アゴーラ リージェンシー 大阪堺	新規
	アパホテル（堺駅前）	新規
	コンフォートホテル 堺	新規
	ホテルサンプラザ堺本館	新規
	ホテルサンプラザ堺アネックス	新規
	ビジネスホテル ニュー大浜	新規
	ホテルアストンプラザ大阪堺	新規
	ダイワロイネットホテル 堺東	新規
	AB ホテル堺東	新規
	大阪ベイプラザホテル	新規
	ホテルリバティプラザ	新規

	東横 INN 堺東駅	新規
分類	施設名	新規/継続区分
公園・運動施設	大浜だいしんアリーナ（大浜体育館）・だいしん大浜武道館（大浜武道館）	継続
	三宝公園	継続
	大浜公園	継続
	戎公園（ザビエル公園）	継続
その他の施設 （路外駐車場）	タイムズ ABC 翁橋	新規
鉄道駅	堺駅	継続
	堺東駅	継続

（２）生活関連経路の選定

バリアフリー新法において、生活関連経路は「生活関連施設相互間の経路」と定められています。

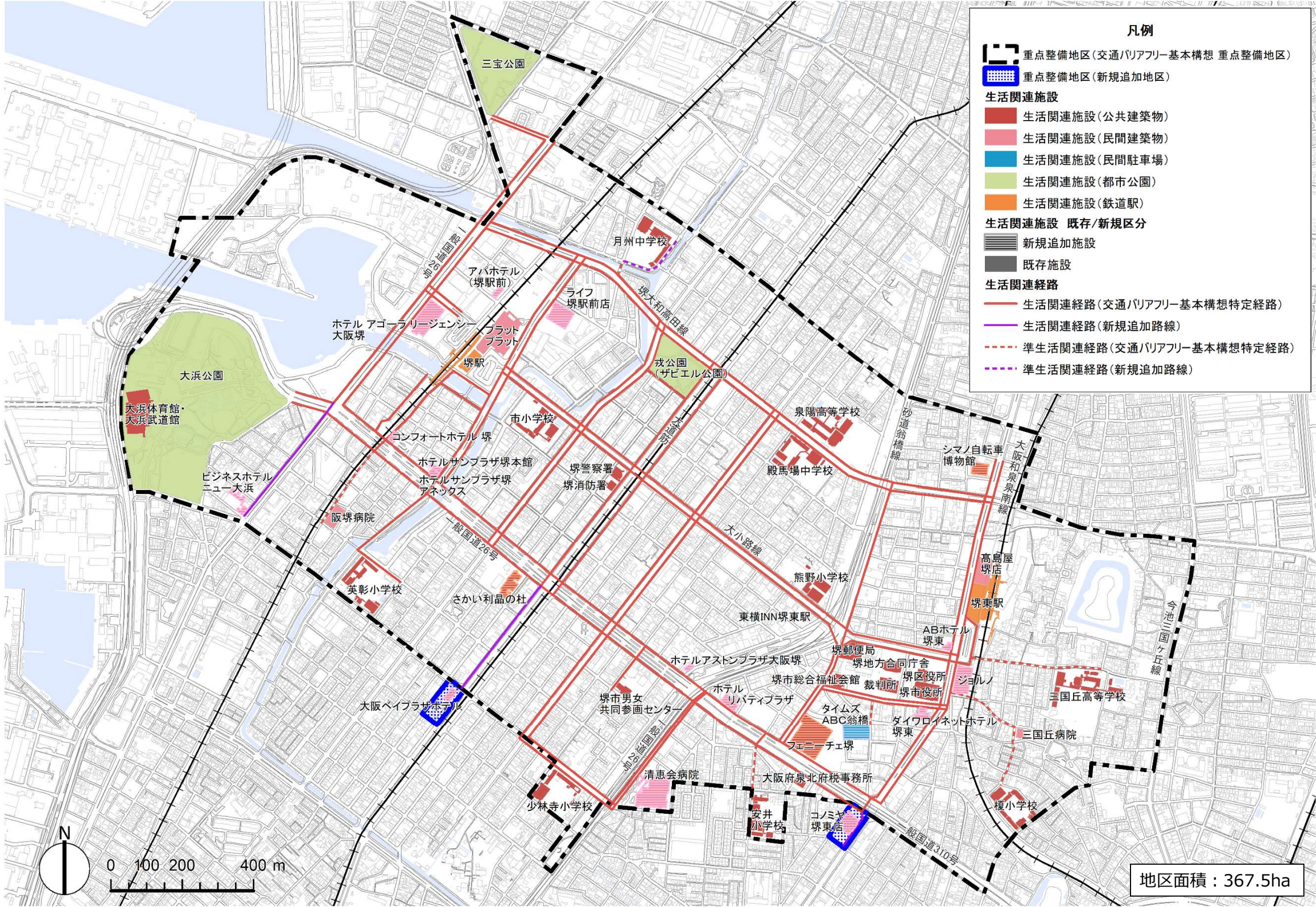
「堺駅・堺東駅周辺地区」における生活関連経路は、平成 13 年度に策定した「堺市交通バリアフリー基本構想」で定めた特定経路に、生活関連施設の立地を踏まえた経路を加え定めま

す。
また、準生活関連経路についても同様に平成 13 年度に策定した「堺市交通バリアフリー基本構想」で定めた準特定経路を準生活関連経路として設定しますが、生活関連経路の立地を踏まえ、一部の路線の追加・廃止を行っています。

3.重点整備地区の設定

「堺駅・堺東駅周辺地区」における重点整備地区は、平成13年度に策定した「堺市交通バリアフリー基本構想」で定めた重点整備地区をもとに、生活関連施設の立地を踏まえ、一部地域を新たに編入します。
「堺駅・堺東駅周辺地区」における生活関連施設・生活関連経路・重点整備地区は以下の通りです。

【堺駅・堺東駅周辺重点整備地区】



4.重点整備地区における要件整理

今回定めた重点整備地区について、重点整備地区設定の要件と照らし合わせて地区の状況を整理し、妥当性を検証します。

【堺駅・堺東駅周辺地区】

要件	地区の状況
配置要件	○堺駅周辺にはプラットプラットなどの商業施設のほか、シティホテルや学校などが、堺東駅周辺には商業施設や官公庁施設が多く立地しています。 ○堺駅から堺東駅間は直線距離で約 1.6km であり、その間にも学校、警察署、シティホテルなどをはじめとする生活関連施設が立地しており、徒歩による移動が見込まれます。
課題要件	○交通バリアフリー基本構想に基づき各事業が実施されバリアフリー化が進んでいますが、駅や生活関連施設、道路など、全体的に設備の旧式化や老朽化による修繕が必要な箇所が見受けられます。 ○また、心のバリアフリーや情報のバリアフリーを実現するため、既存設備の改善や、より一層のソフト事業推進が求められます。
効果要件	○両駅の周辺を中心に多様な都市機能が集積する堺市の中心的な拠点であり、一体的に地区のバリアフリー整備を進めていくことが、都市機能の増進につながると考えられます。

Ⅱ.地区の特性、バリアフリー化の主な課題

1.地区の特性

本地区は、南海高野線堺東駅周辺から南海本線堺駅周辺に至るエリアで、両駅の周辺を中心に多様な都市機能が集積する堺市の中心的な拠点です。

堺東駅周辺は、百貨店や商店街等の商業機能や各種業務機能が集積しているほか、昭和19年の市役所の移転後、その周辺にさまざまな官公庁施設が立地し行政ゾーンを形成しています。堺駅周辺は、堺駅西口再開発事業に伴い、駅前広場やシティホテル、業務ビルなどが整備されてきており、両駅を中心に堺市及び周辺地域における行政サービス、商業・業務機能の拠点を形成しています。

生活関連施設は駅周辺のみならず重点整備区域内全体に点在しており、公共施設や宿泊施設、大規模小売店舗等があります。

本地区では平成13年度に「堺市交通バリアフリー基本構想」の「堺駅・堺東駅周辺地区」が策定され、旅客施設や道路などのバリアフリー化が図られてきました。

2.地区の課題

交通バリアフリー基本構想に基づき各事業が実施されバリアフリー化が進んでいますが、駅や生活関連施設、道路など、全体的に設備の旧式化や老朽化による修繕が必要な箇所が見受けられます。また、本基本構想で新たに生活関連経路に指定された道路では、点字ブロック敷設等の整備がされていない箇所もあり、今後整備が望まれます。

生活関連施設については、築後相当年数を経過しておりバリアフリーの考え方に基づいた設計がなされていない施設も含まれるため、バリアフリー化の整備が充分でない部分への対応が求められます。

また、心のバリアフリーや情報のバリアフリーについては、各事業者の自主的な取組により個別に事業が実施されてきました。重点整備地区内での一体的な心のバリアフリーや情報のバリアフリーを実現するため、既存設備の改善や、より一層のソフト事業推進が求められます。